

## EVスマート充電・運行管理システム eFleet による 社員の自家用車向け充電マネジメント



### 社用車のEV充電マネジメントだけでなく、 社員の自家用車も充電管理システムで充電状況の見える化

#### 岡山ガスのご紹介

##### 地域のエネルギー会社としての歩み

明治 43 年(1910 年)の創業以来、都市ガス事業を主体にお客さま、地域社会に支えられ、着実に発展してまいりました。「岡山ガスグループはお客さまの安全で快適な暮らしの創造に貢献します」という企業理念の下、岡山県内 5 市 1 町、約 12 万世帯のお客さまへ都市ガスをお届けしています。

昨今、エネルギー業界は、電力に続き、都市ガスも小売全面自由化が実施され、大きく変化しております。また、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて、社屋の ZEB 化・ZEB プランナー取得や、第三者所有型太陽光発電サービス(PPA 事業)など、都市ガスだけでなく多面的にサービス提供できるよう進めています。



2022 年に完成した新本社社屋(左)

#### 岡山ガスがなぜ EV なのか

##### 脱炭素社会の実現のために必要な EV 化



充電器付駐車場(2024 年 2 月完成)

車両の電動化は脱炭素に必須と考えております。ただ、単に EV 導入するだけで解決とはいきません。車両を運行しながらタイミングよく充電を行う複雑なエネルギーマネジ

メントが必要と考え、三菱オートリース様、アークエルテクノロジー様のご協力の下、2023 年 4 月より EV ワンストップサービス事業を開始しました。

新社屋の竣工と共に、急速充電器と V2B(充放電器)、EV を 1 台導入していましたが、更なる EV の有効活用のために、社内に充電器ステーションを設置しました。日東工業様製の普通充電器を 6 基設置し、EV 専用の駐車場を整備しました。また、それに合わせて EV 化も進め、計 6 台を運用しております。

## EV の充電管理・運行管理の自動化

### EV のマイナスイメージを自動化で払拭



eFleet 運用画面(岡山ガス管理画面)

EV に対するマイナスなイメージとして「充電残量が無くなったときが大変」「充電器の運用や車両の管理が面倒」といったお声があります。そういった EV=面倒を解決するために、アークエルテクノロジーズ様が開発した、EV 充電管理システム「eFleet」を採用しております。EV の充電残量や、位置情報など車両の情報を取得し、自動で充電スケジュールを生成するため、「朝、会社に来たら勝手に充電が終わっている」という省人化を実現しています。

また、充電スケジュールは夜間にシフトをしているため、事務所や工場で気になる最大需要電力への影響も制御できており、無作為に EV 充電をすることで契約電力が増えちゃうというリスクにも対応できます。

### 更なる EV 化のためには、まずは社員から

#### 充電開始の準備

充電器からコネクタを取り外し  
車に接続してください



挿入したら次へ



eFleet 充電課金機能とスマホでの操作

EV に対する適切な理解と運用のためには、まずは岡山ガスの社員自身が気軽に EV を使える環境を作ることも必要だといえます。自宅で充電するだけでなく、会社でも充電できれば EV を利用しやすくなると考え、現在、EV・PHEV を自家用車としている社員を対象に、EV 充電器の無料開放を行っています。充電量や充電時間、利用状況などすべてデータで管理し、誰が、いつ、どれくらい充電したのかを把握できるようにしています。現在は実証段階ではありますが、将来的には社員向けの充電に対して、電力が余る晴れた日の日中は安く、電力がひっ迫する時間帯は高くするダイナミックプライシング方式で課金することや、昼は社員の自家用車、夜は社用車など充電器を1台2役で運用することなど、様々な検討を進めています。

### 今後に向けて

「EV の普及が進む中、充電インフラの効率的な管理や充電器とEVそれぞれの運用最適化が求められてきます。今回実証を進めている EV 充電マネジメントは、岡山県内での分散型エネルギー社会の実現のために、岡山県内での充電ステーションの運営や、充電スケジュールの最適化、電力需要の調整などにおいて重要な役割を果たしていくと考えています。お客さまにとっても、便利で効率的なサービスとなるために更なるチャレンジを続けていく必要があります」(経営企画室 室長 藤原 勝博)

EV は脱炭素社会の実現に必要なツールではありますが、最適化運用には様々な課題もあります。効率的な EV 導入を進めていきたいけれども、「どうやって EV 化を進めていかわからない」「たくさんある充電器のどれを選んだらいいかわからない」といった企業様、脱炭素施策推進のご担当者様がおられましたら、気軽に岡山ガスへご相談ください。

・所属、役職、本事例の内容は 2025 年 2 月時点のものです。

・eFleet はアークエルテクノロジーズ株式会社様のサービスとなります(<https://aakel.co.jp/eFleet/top>)